平成 27 年度栃木ケーブルテレビ放送番組審議会

議事録

１．開催日時　平成 27 年 11 月 9 日(月)　11:30～12:57

２．開催場所　ケーブルテレビ株式会社　栃木センター　大会議室

３．出席委員　審議委員総数　15 名
出席委員数　　12 名

■出席者（敬称略）

鈴　木　俊　美　会　　長（栃木市長）
小　菅　一　弥　副 会 長（壬生町長）
大　川　吉　弘　委　　員（栃木商工会議所会頭）
河　田　公　美　委　　員（大平町商工会 会長）
田　中　久　己　委　　員（藤岡町商工会 会長）
日向野　孝　夫　委　　員（都賀町商工会 会長）
山　岸　弘　幸　委員代理（西方商工会 副会長）
野　本　陽　一　委　　員（栃木警察署長）
増　山　政　廣　委　　員（栃木市消防本部 消防長）
浜　野　　真　　委　　員（石橋地区消防組合消防本部消防長）
後　藤　正　人　委　　員（栃木市教育委員会委員長）
森　田　勝　子　委　　員（壬生町女性団体連絡協議会 会長）

■ケーブルテレビ株式会社 出席 10 名

髙　田　光　浩　（代表取締役）
荒　金　憲　一　（取締役会長）
村　上　正　子　（取締役）
桑　原　紀　一　（取締役）
戸　澤　伸　元　（相談役）
小　林　康　行　（執行役員 技術部部長 兼 館林局長）
大　川　　進　（コンテンツ部課長）
今　泉　　勉　（コンテンツ部ＴＶチーム主任）
清　水　研　児　（コンテンツ部ＴＶチーム主任）
高　橋　理　香　（コンテンツ部ＴＶチーム）

４．議事内容　報告事項の説明（全体）

① 新委員の委嘱に関してご報告
② 放送エリア及び加入状況に関してご報告
③ 新サービスに関してご報告

報告事項説明（コミュニティチャンネル関連）

① 平成 27 年度コミュニティチャンネルに関してご報告
② 主な番組のご視聴
③ 今後の主な取り組みに関してご報告

【委員からのご意見】

（委　員）防災定点カメラの設置は、会社として設置するものなのか。災害時は、大変危険な場所での撮影にもなるため、定点カメラの設置を進めてはどうか。

（ＣＣ９）9 月の災害で、状況をタイムリーに、またリアルに伝えることが重要だと痛感した。定点カメラについては社内で検討している。国土交通省、栃木県、栃木市、壬生町の皆様ともご相談しながら進めて行きたい。
弊社ホームページのＷｅｂカメラページのアクセス数は平時 100 件/日程度だが、9 日のアクセス数は 10,000 件、10 日は 20,000 件もあった。このことからも、今後はカメラの増大を図っていきたい。

（委　員）災害の種類が増えたことや、防犯という意味においても、カメラの有効活用が必要になってきている。安心安全な街づくりには欠かせないもの。また、災害時の取材等において、ケーブルテレビのスタッフがどのような動きをしていたのか、またその際の困ったこと・苦労したことなどの話から、行政側で見えていなかった部分も見えてきて、今後に活かせるのではないか。

（委　員）災害発生時は、市内(町内)全域がどうなっているのかなかなか情報が出せないのが現状。被災された方は、ご自分の地域の情報しかわからない。住民全体の状況を知らせる意味で、定点カメラの設置はありがたいこと。防犯カメラ設置のご要望もたくさんある。設置費用、プライバシー等の問題で現在検討している。定点カメラ増設については、防犯の点も含め、

自治体と一緒の事業としていただきたい。

（委　員）昨今は予想できない災害が起きている。どのような経緯で対応したのか。

（ＣＣ９）9 月の災害では、反省すべき点が多かった。お客様からのアンケートが 1 日 50 通程度届いているが、今日もその中に、災害時に同じ情報がずっと流れていたとのお叱りがあった。新鮮な情報を常に更新しながら放送できるのが理想。FM くらら 857 には、道路状況など栃木市の今がリスナーからのメッセージで送られて来ており、テレビ放送のヒントになっている。今後は、有事の際に住民からの情報を「確認はとれていないがこのような情報が入っている」という形で、ラジオやテレビで伝えていく態勢をしっかりと整えていく。必ず次回はそのような態勢がとれるようにしたい。竜巻もいつ何時起こるかわからない。想定外のことが起きる可能性を常に頭に入れておくことが必要。

（委　員）周囲から、壬生町の映像は早くから流れたのに、栃木市の情報はテロップばかり流れていたがどうなっているのだという声が多かった。民放では、未確認でも視聴者提供の写真や映像を流している。ケーブルテレビや行政だけでは網羅できない。視聴者からの情報を番組に活かしていくべき。現場に行かなくてもタイムリーな情報を流すことが出来る。

（委　員）水害後の谷中湖の状況を見て、ケーブルテレビのこの現状を伝えたいと思った。例えば審議委員に情報提供の依頼があれば、状況を伝えることはできる。強いニュースソースになるのでは。

議事

1 コミュニティチャンネルに関してのご意見、ご質問

（委　員）ニュースの中で、「せんべばし」が落ちたとあったが、正しくは「せんぶばし」といって昔からある橋。名前は間違えないようにして欲しい。

（委　員）大変だとは思うが、地名・人名は事前の確認が必要。間違えたら後で訂正を入れるべき。

（委　員）いざという時は現場の模様をできるだけ映していただきたい。行政に対する住民の理解が深まる。

（ＣＣ９）まずどこからどういう情報をいただけるかも把握できていな

かった。積極的に連携をとることがメディアの役目。行政、警察署、消防署等、核になるところともっと連携を図って情報を伝える必要がある。それぞれの部門の責任者が出て呼びかけをするのが住民にとってもわかりやすく、危機感も伝わる。積極的な関わりをとれなかったのが反省点。もしまたあったら同じことを繰り返さないよう、日頃から訓練を実施していく。その際はご協力を。

（委　員）地元の自治体としても、真っ先に情報を提供し、住民に伝えて欲しいという思いを強く持った。もっと利用させていただく方法を考えていく。

（ＣＣ９）各自治体との普段のコミュニケーションが大切。1 年に 1 回か 2 回、各担当者との話し合いをさせてほしい。普段から意志の疎通が大切。ぜひご協力を。

（委　員）そうしていただけるとありがたい。